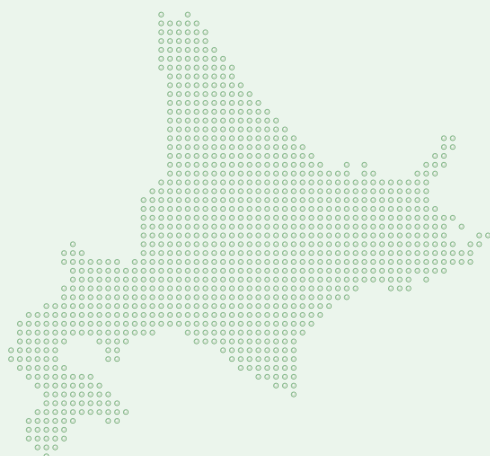




HOKKAIDO SHINREN REPORT

中間期ディスクロージャー
2018





JAグループ北海道は、
北海道550万人と共に創る
「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」
を実現します。



JAバンク北海道は、
金融面から組合員や
地域の皆さまの生活をサポート
します。



「力強い農業」の実現

農業所得の20%増大で、
働きがいと豊かな暮らしを——。

- 儲かる農業の実現に向けた
収益向上の取り組み
- 営農基本技術の励行と生産から
販売までのトータルコストの低減
- 道産農畜産物の海外への
発信や北海道型6次産業化の展開
- 組合員の意志結集による農政運動の展開



新規担い手の倍増で、
未来へ続く農業経営を——。

- 力強く持続可能な農業を支える
担い手の確保・育成



「豊かな魅力ある農村」の実現

食と農を通じて北海道550万人と
「つながり」を実現します——。

- 農業の魅力を生かした地域づくり
- 地域のつながりを守るための
基本インフラ(生活基盤)づくり
- 道民と食と農でつながるサポーター550万人づくり



はばたく大地 北海道には、
たくさんの笑顔が咲いている

CONTENTS

JA北海道信連の基本姿勢	4
業績の推移等	5
財務データ	8
自己改革の取り組み	11
「力強い農業」の実現への取り組み	13
「豊かな魅力ある農村」の実現への取り組み ...	17
社会的責任と地域貢献活動	23
組織情報	26

JA北海道信連の基本姿勢

JA北海道信連は、
「一人は万人のために、万人は一人のために」の精神に基づき、
会員・組合員そして地域の皆さまの金融サポーターです。

経営理念

当会は協同組合組織の農業専門金融機関として、会員JAとその構成員である組合員の経営と生活の向上を図り、もって国民経済の健全な発展に寄与いたします。

また、地域金融機関として、組合員等利用者のニーズに対してJAと一体となって金融サービスを提供することにより、農業およびその関連産業の振興、地域社会の活性化に貢献いたします。

経営方針

当会は昭和23年設立以来、JAと共に「北海道農業の発展と地域経済への貢献」をモットーに、次の事項を基本として事業運営を行っております。

1. 組合員の経営と生活の向上および食料生産基地「北海道」の生産基盤充実への寄与
2. JA信用事業機能強化に向けての支援
3. 地域社会の発展に寄与する農業関連産業・北海道経済を担う企業へのサービスの提供

経営計画

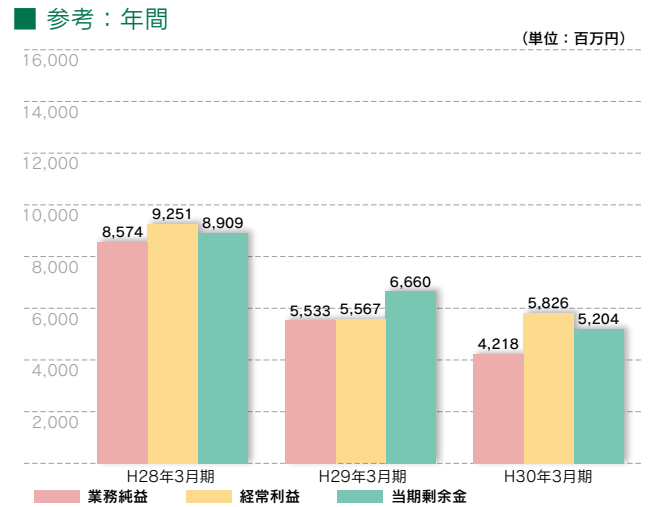
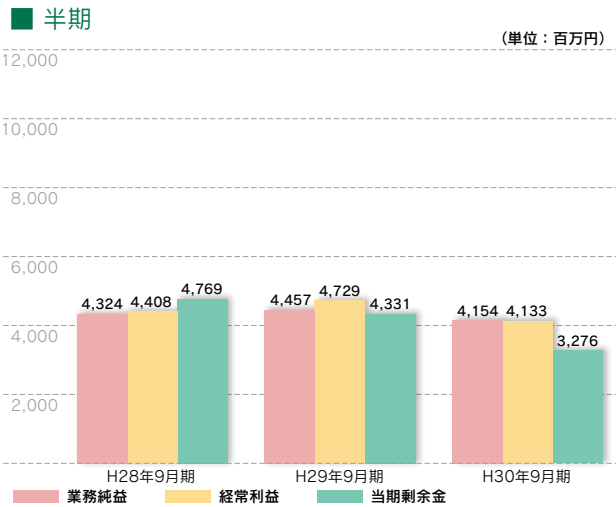
当会は中期経営計画「Go Forward～すべては、農業と北海道の未来のために～」(平成28～30年度)を樹立し、組合員の経営と生活の向上に資することを究極的使命とし、農業および地域社会の発展のため、以下の4項目を柱に取り組みまいります。

1. 連合会としてのJA補完機能を強化し、多様化する農業者のニーズに応える幅広い金融サービスの提供と総合的コンサル機能の発揮に取り組みます。
2. 利用者ニーズに応える金融サービスの充実と地域住民の農業やJA事業への理解促進を図る積極的な広報等の取り組み強化により、JA信用事業基盤拡大と地域活性化を支援します。
3. JAが地域に欠くことのできない金融機関として永続的に発展するための基礎となるJAの経営管理態勢の確立・強化に向けて、積極的に支援します。
4. 会員への安定還元とJA信用事業運営への支援機能を強化するため、収益力の向上、財務基盤の強化、内部態勢の再構築・強化に取り組みます。



業績の推移等

◆ 業務純益等の推移

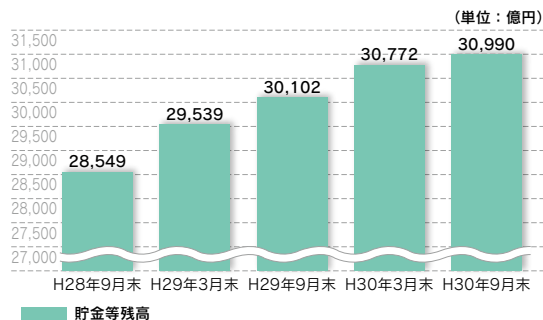


平成30年9月末仮決算においては、業務純益は41億円、経常利益は41億円、当期剰余金は32億円となりました。

◆ 貯金等残高・貸出金等の残高の推移

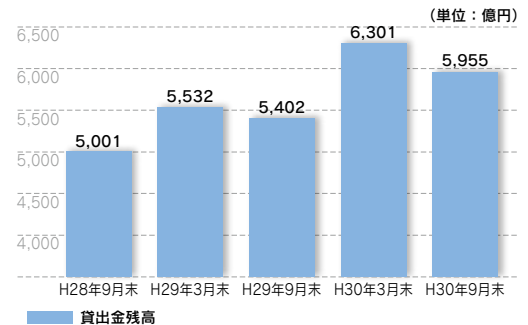
[貯金・NCD]

平成30年9月末の貯金等残高は、3兆990億円（前年同月比+888億円・2.9%増）となりました。



[貸出金]

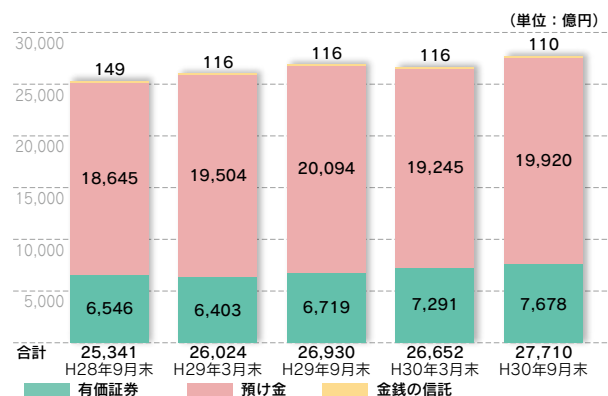
平成30年9月末の貸出金残高は、5,955億円（前年同月比+553億円・10.2%増）となりました。



[余裕金]

平成30年9月末の有価証券残高は、7,678億円（前年同月比+959億円・14.2%増）となりました。

預け金残高は、1兆9,920億円（前年同月比△174億円・0.8%減）となっております。



業績の推移等

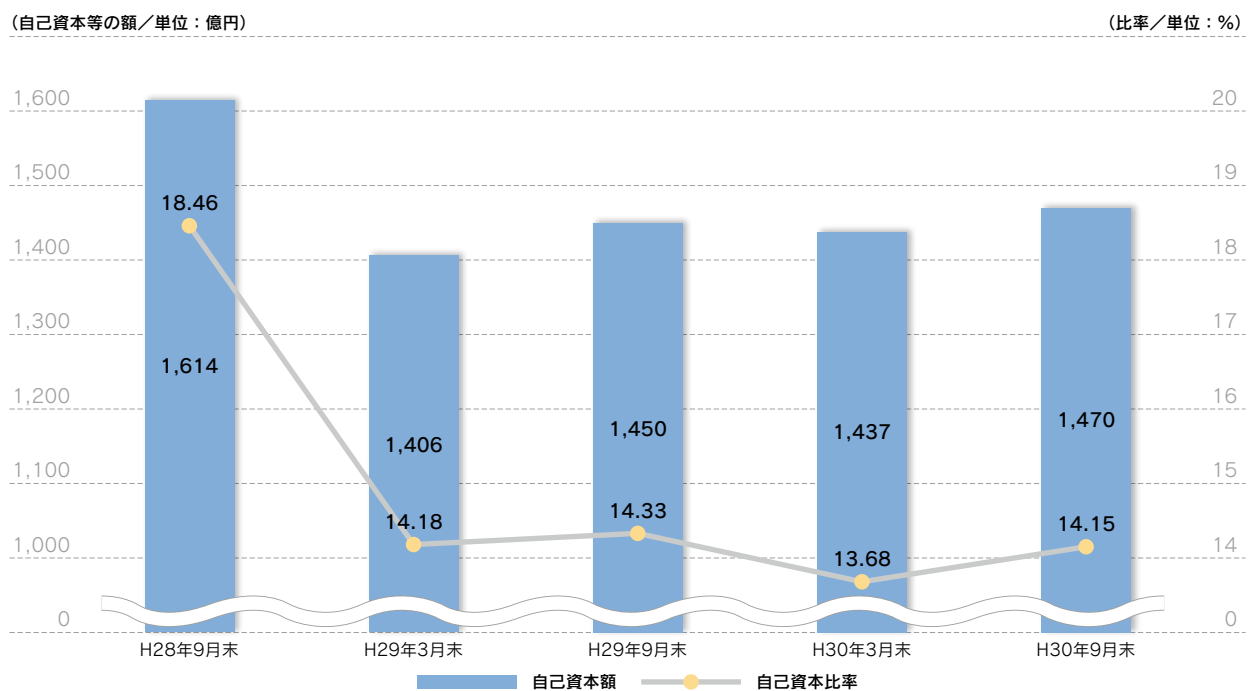
◆ 自己資本比率の推移（単体）

当会では、会員やお客様の多様なニーズに応えるため、またJAバンク北海道の本部機能を高度に発揮していくために、経営の健全性維持と財務基盤の強化は重要な課題であります。

平成30年9月末における当会の単体自己資本比率は、14.15%（前年同月比△0.18pt）となっており、健全性を維持する水準を確保しております。

自己資本額については、内部留保による利益剰余金の増加等により、平成30年9月末時点で1,470億円となり、前年同月比20億円の増加となりました。

なお、自己資本比率の算出にあたっては、「自己資本比率算出基準」および「自己資本比率算出事務手続」を制定し、適正なプロセスにより正確な自己資本比率の算出に努めております。



業績の推移等

❖ 不良債権の状況

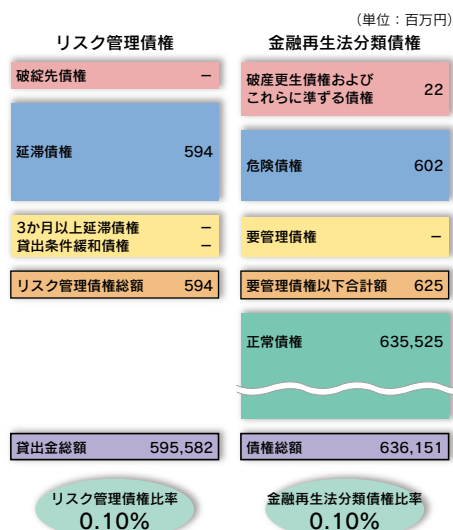
当会は、適正な不良債権処理、情報開示に取り組んでおり、不良債権の状況については、法定開示である「リスク管理債権」に加え、透明性確保の観点から「金融再生法に基づく開示債権」についても情報開示しております。

平成30年9月末のリスク管理債権総額は594百万円で、貸出金総額に占める割合は0.10%、またリスク管理債権総額のうち、貸倒引当金および担保・保証等により保全されている額は581百万円で、保全率は97.8%となっております。

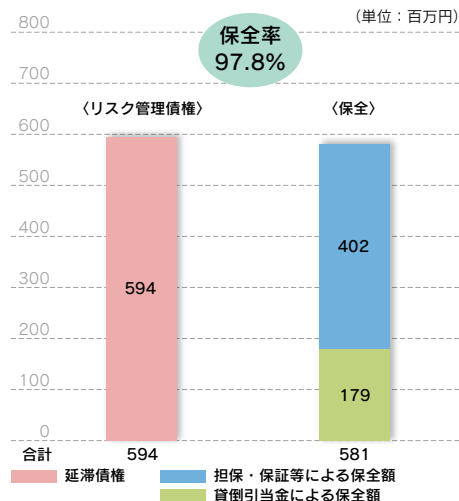
また、平成30年9月末の金融再生法に基づく開示債権のうち、要管理債権以下合計額は625百万円で、債権総額に占める割合は0.10%、また要管理債権以下合計額のうち、貸倒引当金および担保・保証等により保全されている額は608百万円で、その割合は97.2%となっております。

なお、リスク管理債権および金融再生法に基づく開示債権の詳細については、財務データ「不良債権の状況」に記載しておりますのでご参照ください。

■ 平成30年9月末 不良債権の状況



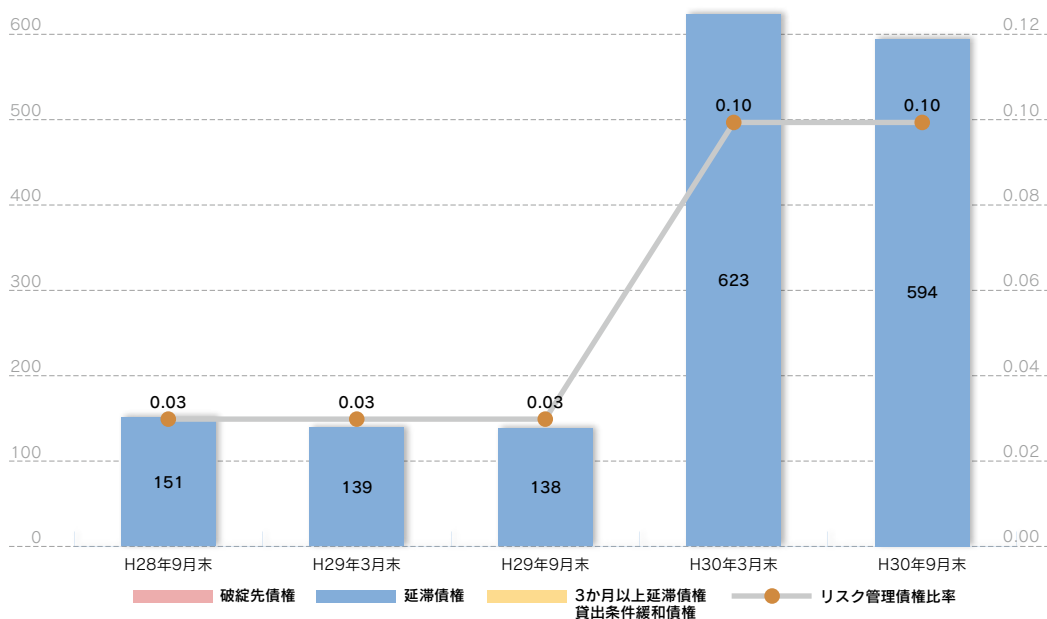
■ リスク管理債権に占める保全の割合



■ リスク管理債権比率の推移

(債権額／単位：百万円)

(比率／単位：%)



財務データ

◆ 主要経営指標

(単位：百万円)

	平成29年9月期	平成30年9月期	平成30年3月期
業務純益	4,457	4,154	4,218
経常利益	4,729	4,133	5,826
当期剰余金	4,331	3,276	5,204
貯金等残高	3,010,201	3,099,011	3,077,267
預け金残高	2,009,463	1,992,061	1,924,534
貸出金残高	540,268	595,582	630,156
有価証券残高	671,941	767,879	729,108

注) 貯金等残高は譲渡性貯金を含んでいます。

◆ 自己資本の状況 (単体)

(単位：百万円)

	平成29年9月期	平成30年9月期	平成30年3月期
コア資本に係る基礎項目の額 (A)	145,185	147,112	143,846
うち出資金	96,273	96,273	96,273
コア資本に係る調整項目の額 (B)	86	73	90
自己資本額 (C) = (A) - (B)	145,099	147,038	143,756
リスクアセット等 (D) = (E) + (F) + (G)	1,012,476	1,038,846	1,050,523
資産 (オン・バランス) 項目 (E)	959,541	981,833	997,488
オフ・バランス取引等項目 (F)	29,956	35,336	31,358
オペリスク相当額を8%で除して得た額 (G)	22,978	21,676	21,676
自己資本比率 (C) / (D)	14.33%	14.15%	13.68%

注) 1. 農協法第11条の2の規定に基づく組合の経営の健全性を判断するための基準に係る算式に基づき算出しております。

財務データ

◆不良債権の状況

◆リスク管理債権残高

(単位：百万円)

	残高	保全額			合計
		担保等	保証	引当等	
平成29年9月末					
破綻先債権額	—	—	—	—	—
延滞債権額	138	4	78	39	122
3か月以上延滞債権額	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権額	—	—	—	—	—
合計	138	4	78	39	122
平成30年9月末					
破綻先債権額	—	—	—	—	—
延滞債権額	594	18	383	179	581
3か月以上延滞債権額	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権額	—	—	—	—	—
合計	594	18	383	179	581
平成30年3月末					
破綻先債権額	—	—	—	—	—
延滞債権額	623	18	400	189	608
3か月以上延滞債権額	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権額	—	—	—	—	—
合計	623	18	400	189	608

- 注) 1. 破綻先債権……元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本又は利息の取立て又は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出金（貸倒償却を行った部分を除く。以下「未収利息不計上貸出金」という。）のうち、法人税法施行令第96条第1項第3号のイからホまでに掲げる事由又は同項第4号に規定する事由が生じている貸出金をいいます。
2. 延滞債権……未収利息不計上貸出金であって、注1に掲げるものおよび債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したもの以外の貸出金をいいます。
3. 3か月以上延滞債権……元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3か月以上遅延している貸出金（注1・2に掲げるものを除く。）をいいます。
4. 貸出条件緩和債権……債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金（注1・2・3に掲げるものを除く。）をいいます。
5. 保全額……下記「金融再生法に基づく開示債権」も同様
- (1) 担保・保証……リスク管理債権のうち、担保付貸出金について当該担保の処分可能見込額、保証付貸出金について当該保証による回収可能見込額等の合計額を表示しています。
- (2) 引当等……リスク管理債権のうち、個別債務者への貸出金の状況に応じ、回収不能に備え個別貸倒引当金（間接償却）に繰り入れた場合はその引当金残高を計上し、個別貸倒引当金による引当の対象とならない貸出金については、一般貸倒引当金のうち、貸倒実績率によって計算された額を計上しています。なお、引当等には、自己査定による回収見込額を含んで計上しています。

◆金融再生法に基づく開示債権残高

(単位：百万円)

	残高	保全額			合計
		担保等	保証	引当等	
平成29年9月末					
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	26	3	0	1	5
危険債権	175	50	79	46	175
要管理債権	—	—	—	—	—
小計	202	53	79	48	180
正常債権	579,666				
合計	579,868				
平成30年9月末					
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	22	5	0	0	5
危険債権	602	37	383	181	602
要管理債権	—	—	—	—	—
小計	625	43	383	182	608
正常債権	635,525				
合計	636,151				
平成30年3月末					
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	25	5	0	0	6
危険債権	629	37	400	191	629
要管理債権	—	—	—	—	—
小計	655	43	400	191	635
正常債権	668,372				
合計	669,027				

注) 上記の債権区分は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」（平成10年法律第132号）第6条に基づき、債務者の財政状態および経営成績等を基礎として、次の通り区分したものです。

- 破産更生債権およびこれらに準ずる債権……破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権をいいます。
- 危険債権……債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った元本および利息の受取ができない可能性が高い債権をいいます。
- 要管理債権……3か月以上延滞貸出債権で上記1、2に該当しないものおよび貸出条件緩和債権をいいます。
- 正常債権……債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないものとして、上記1から3に掲げる以外のものに区分される債権をいいます。

財務データ

◆ 有価証券等の時価情報

◆ 有価証券

(単位：百万円)

区分	取得価額	時価	差額
平成29年9月末			
売買目的	—	—	—
満期保有目的	42,354	45,154	2,800
その他	582,151	629,586	47,435
平成30年9月末			
売買目的	—	—	—
満期保有目的	35,655	37,918	2,263
その他	688,440	732,224	43,784
平成30年3月末			
売買目的	—	—	—
満期保有目的	36,424	38,998	2,574
その他	644,632	692,684	48,051

- 注) 1. 本表記載の有価証券の取得価額は、取得価額または償却原価によっています。
 2. 本表記載の有価証券の時価は、期末日における市場価格等に基づく時価により計上したものです。
 3. 売買目的有価証券については、時価を貸借対照表価額とし、評価損益については当期の損益に含みますが、該当ありません。
 4. 満期保有目的有価証券については、取得価額を償却原価として計上しています。
 5. その他有価証券については、時価を貸借対照表価額としています。

◆ 金銭の信託

(単位：百万円)

区分	取得価額	時価	差額
平成29年9月末			
運用目的	10,653	10,932	279
満期保有目的	—	—	—
その他	735	736	1
平成30年9月末			
運用目的	10,898	10,723	△174
満期保有目的	—	—	—
その他	335	335	0
平成30年3月末			
運用目的	10,696	10,898	202
満期保有目的	—	—	—
その他	733	734	1

- 注) 1. 本表記載の金銭の信託の時価は、期末日における市場価格等に基づく時価により金銭の信託の受託者が合理的に算出した価格によっています。
 2. 運用目的の金銭の信託については、時価を貸借対照表価額とし、評価損益は当期の損益に含めています。
 3. 満期保有目的の金銭の信託については、取得価額を貸借対照表価額として計上しますが、該当ありません。
 4. その他の金銭の信託については時価を貸借対照表価額としています。

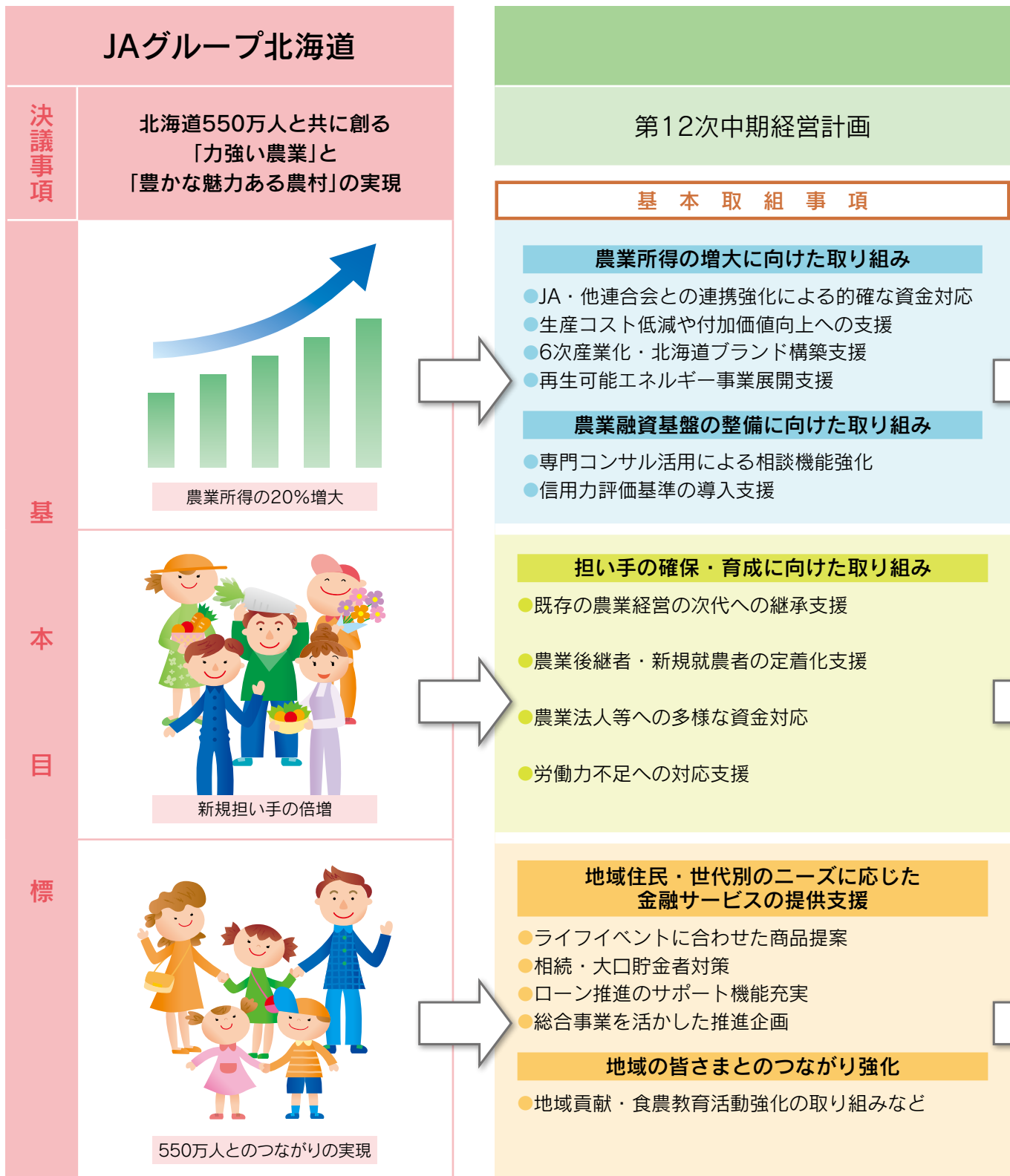
◆ デリバティブ取引等

- 株式関連取引……該当ありません。
- 債券関連取引……該当ありません。
- 通貨関連取引……該当ありません。
- 金利関係取引……該当ありません。

自己改革の取り組み

農業を取り巻く環境が厳しさを増すなか、政府は、平成26年5月の規制改革会議・農業ワーキンググループによる「農業改革に関する意見」の発表を皮切りに、農協法の改正や農業競争力強化支援法の成立など、農協改革への取り組みを進めています。

このような状況下、JAグループ北海道では、平成27年のJA北海道大会において、“北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」”の実現に向けて、グループ間で連携し、様々な自己改革の取り組みを進め



自己改革の取り組み

ていくことを決議しました。

当会におきましても、第12次中期経営計画「Go Forward～すべては、農業と北海道の未来のために～」における取組事項の着実な実践を通じて、JA北海道大会の決議事項の実現、そして信頼され選ばれ続けるJAバンク北海道の確立に向けて、全役職員が一丸となって取り組んでまいります。

J A 北 海 道 信 連

「Go Forward～すべては、農業と北海道の未来のために～」

具 体 的 取 組 事 項

JA・他連合会との連携強化による的確な対応

- 担い手の確保・育成に向けた支援事業（4事業）を実施。
- JAバンクから農業資金の融資を受ける農業者に対し「JAバンク北海道サポート事業」により利子助成を実施。

6次産業化・北海道ブランド構築支援

- JA等とのビジネスマッチングや商談会開催への支援を実施。
- 「JAバンク北海道サポート事業」により商談会への出店費用の助成支援を実施。

担い手への多様な資金対応

- 貸付対象者や資金使途に応じ、道内JA統一資金や北海道信連独自資金等さまざまな資金を設け、農業担い手等への金融対策強化に向けての取り組みを実施。

農業後継者・新規就農者の定着化支援

- 農業経営者向け経営フォーラムや農業後継者・新規就農者向けセミナーの開催。



ニーズに応じた金融サービスの提供

- 北海道産農畜産物を景品とした、JAバンク北海道ならではのキャンペーンの展開。



- 「年金感謝ウィーク」では、北海道警察と連携し、特殊詐欺の注意喚起を印刷した粗品「招福ようかん」を提供。

食農教育活動強化

- 親子向けの「収穫・料理教室」の開催。



- 全道の小学校へ、食農教育用の補助教材本を贈呈。



「力強い農業」の実現への取り組み

～「農業所得20%増大」と「新規担い手倍増」の実現～

JAバンク北海道は、農業メインバンクとして多様なニーズに応じていくとともに、「農業所得の20%増大」と「新規担い手の倍増」の実現に向けて取り組んでいます。

農業所得の増大に向けた取り組み

農業所得の増大に向け、ニーズに応じた資金融資や生産コスト低減等への金融面からの支援に取り組んでいます。

JAバンク北海道の多様な農業資金（平成30年9月末現在）

対象者や資金使途に応じ、さまざまな資金を設けています。道内JA統一資金のほか、北海道信連独自資金も設けており、JAバンク北海道が一体となった農業担い手等への金融対策強化に取り組んでいます。

【道内JA統一資金】

（単位：百万円）

資金名	資金の使いみちなど	残 高
JAフルスペックローン	農機具や格納庫など、比較的小口の設備資金	68,161
JA農業経営緊急支援資金	飼料費などの生産資材の高騰あるいは災害などにより緊急に必要となる中・長期運転資金	8,440
JA農業経営サポートローン	「経営所得安定対策」に係る交付金等入金までの間に必要となる運転資金	71
JA農業経営ステップアップローン	農業経営に必要な設備資金や中・長期運転資金	20,308
JA営農応援ローン	農業経営に必要な短期運転資金	991
JA新規就農応援資金	新規就農者の農業経営にかかる設備・運転資金	146
JA再生可能エネルギー施設等資金	再生可能エネルギー利用の取組みを支援するための発電・蓄電設備取得資金	350
JA農業後継者応援資金	既往農業負債の借換並びに借換に必要な費用	1,477
JA中核農業者応援資金		
JA担い手経営対策資金	既往農業負債の借換並びに借換に必要な費用	113
JA畜産等経営資金	繁殖牛導入等に必要な長期運転資金 初生牛（素牛）の育成・肥育に必要な運転資金等	237

【北海道信連独自資金（農家組合員向け）】

（単位：百万円）

資金名	資金の使いみちなど	残 高
農業経営ステップアップ資金	農地・施設・機械の取得等、農業経営改善に要する資金	5,167
信連 新規就農者資金	新規就農者が、農業経営を行っていく際に必要となる資金（営農資金・住宅資金）	303
信連 農業後継者応援資金	農業経営の安定化・高度化に資するための既往農業負債の借換並びに借換に必要な費用	1,448
信連 中核農業者応援資金		
信連 農業法人経営応援資金	農業法人が、農業経営を行っていく際に必要となる資金（運転資金・機械・設備資金）	1,492
信連 担い手経営対策資金	返済負担軽減のための既往負債の借換並びに経営改善に必要な設備更新等の新規投資	90
信連 畜産等経営資金	繁殖牛導入等に必要な長期運転資金 初生牛（素牛）の育成・肥育に必要な運転資金等	923

「力強い農業」の実現への取り組み

～「農業所得20%増大」と「新規担い手倍増」の実現～

【北海道信連独自資金（総合JA向け）】

(単位：百万円)

資金名	資金の使いみちなど	残 高
農業経営緊急支援資金	飼料費などの生産資材の高騰あるいは災害などにより、緊急に必要なとなる運転資金について、JAが農業者の皆さまにご融資しようとする場合に、その原資をJAに融通する資金	5,495
共同利用施設等設備資金	組合員が利用する共同利用施設等をJAが建設するための設備資金	34,142

当会では独自資金の他に、制度資金、受託資金も取り扱っております。

【制度資金取扱い状況】

(単位：百万円)

資金名	残 高
農業近代化資金	1,075

【受託資金取扱い状況】

(単位：百万円)

資金名	資金の使いみちなど	残 高
日本政策金融公庫 (農林水産事業)	生産力の維持増進・食料の安定供給の確保に必要な資金をお取り扱いしております。	225,293
日本政策金融公庫 (国民生活事業)	教育を受けるために必要な資金をお取り扱いしております。	488
住宅金融支援機構	災害関連融資等政策的に重要なものを除いて、原則として新規のお取り扱いはしておりません。	14,097

JAバンク北海道サポート事業の実施について

当会は、北海道農業や農業担い手を支援するため、平成26年度より「一般社団法人JAバンク北海道サポート基金」を設立し、新たに『JAバンク北海道サポート事業』を実施しております。

この事業は、道内のJAバンクから農業資金および住宅ローンの融資を受ける農業者・組合員に対し利子の助成を行うことにより借入負担の軽減を図り、その経営をバックアップするものです。さらに、農業担い手ニーズの調査・研究や環境に配慮した地域社会の実現に繋がる事業・地域貢献活動等、幅広く北海道農業をサポートする事業に取り組んでおります。

「力強い農業」の実現への取り組み

～「農業所得20%増大」と「新規担い手倍増」の実現～

担い手の確保・育成に向けた取り組み

「JAグループ北海道 担い手確保・育成支援事業」による生産コストの低減や親元就農・新規就農への支援に取り組んでおります。また、農業者向けセミナー・フォーラムの開催を通じた知識・技術面からの支援により、農業法人・農業者との関係強化を目指してまいります。

JAグループ北海道 担い手確保・育成支援事業の実施

「JAグループ北海道 担い手確保・育成支援事業」としてJAグループ北海道全体で連携して下記の4つの事業に取り組んでおります。

①農家後継者親元就農支援

後継者が就農した経営体および地域が実施する支援に対して、一部を助成する事業。

②農家・農村・農業体験支援

新規参入希望者と受け入れ農家等との「マッチング」や、学生等を農業の現場に呼び込み、農業への理解を深めてもらう「農業インターンシップ」の取り組みにかかる経費の一部を助成する事業。

③ICT導入応援事業

GPSガイダンス装置・自動操舵装置を導入する者に対して、導入費用の一部を助成する事業。

④農業経営コンサルタント事業

担い手農業者の税務、労務に関する相談に専門コンサルタント（税理士、社会保険労務士）を現地に派遣し対面で相談対応を実施する事業。

農業経営フォーラムの開催

本フォーラムはJAグループ北海道が、農業経営者への支援に向けた取り組みの一環として、道内地域農業を牽引する農業経営者を対象に、今後の事業展開等に役立つ経営面での情報提供を目的として開催いたしました。

今後も定期開催を行い、農業経営者とJAグループ北海道との、より一層の関係強化を目指してまいります。

〈平成30年度フォーラム開催内容〉

「JAグループ北海道 農業経営フォーラム」

開催日：平成30年11月7日（水）

開催場所：札幌ビューホテル 大通公園

フォーラムの内容

①講演：トップリバー流の人材育成

講師：㈲トップリバー

代表取締役 嶋崎 秀樹 氏

②講演：いま経営者に求められるもの～松下幸之助の人づくり～

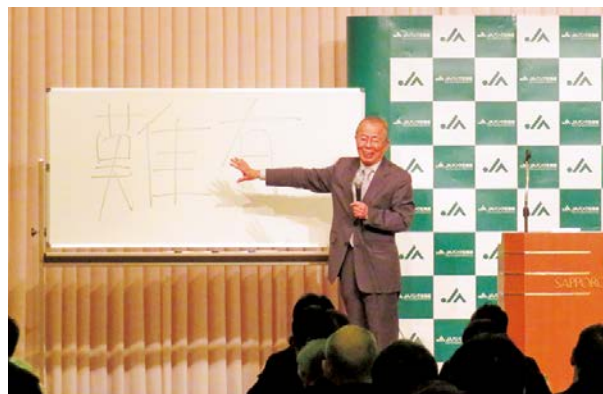
講師：志ネットワーク

代表 上甲 晃 氏

「力強い農業」の実現への取り組み ～「農業所得20%増大」と「新規担い手倍増」の実現～



〈嶋崎氏による講演〉



〈上甲氏による講演〉

農業融資基盤の整備に向けた取り組み

JAの融資体制強化の取り組み

JAバンク北海道では、農業者の経営状況に応じた融資体制強化のため、融資対応の一層の迅速化と高度化に取り組んでおります。

担い手の期待に応える施策展開への取り組み

JAバンク北海道では、各地区に設置された戦略会議（全体会議・農業融資部会）において、JAバンク担い手金融リーダー（※）を中心に担い手の期待に応える施策展開に向けて、地区の実情を踏まえた実践事項等について協議を行っています。

※JAバンク担い手金融リーダー

農業金融実務の専門家として設置を進めてきたもので、現在、255名が各JAで活躍しております。

人材育成の取り組み

JAバンク北海道では、職員の実務処理能力・融資渉外能力の向上および農業融資に関する知識の習得を図るため、「JAバンク農業金融プランナー」資格制度の取得に取り組んでおり、現在、710名が資格を取得しております。

「豊かな魅力ある農村」の実現への取り組み

北海道JAバンク食農教育応援事業の展開

JAバンク北海道では、JAバンクが行う社会貢献活動として、平成20年度から「北海道JAバンク食農教育応援事業」を展開しております。

この事業は、JAが行う食農・環境・金融経済の教育活動をサポートするもので、全道小学校等に対する補助教材本の贈呈や、小中学生などを対象とした農業体験学習等にかかる費用の助成を行っております。

全道の小学校へ教材本を贈呈

教材本贈呈事業では、小学校の授業等で活用いただける、食農教育・環境教育などをテーマとした補助教材「農業とわたしたちの暮らし」を作成し、全道の小学校・特別支援学校に贈呈しております。

平成30年度は、北海道教育委員会をはじめ各市町村教育委員および各学校のご理解・ご協力のもと、全道1,059校の小学校5年生（約41,300人）ならびに20校の特別支援学校へ、最寄りのJAを通じて贈呈を行っております。



〈北海道教育委員会教育長への贈呈〉



〈JA函館市亀田より函館市立中の沢小学校へ贈呈〉

JAグループが行う食農教育活動への助成

全道の各JAやJAの青年・女性部組織は、地元の子どもたちを対象とした食や農業などの教育活動に取り組んでおります。平成29年度は53のJAや組織によって農業体験学習や学校給食食材提供、料理教室など、100活動が各地区で行われました。

JAバンクでは、こうした活動にかかる助成事業を通じて社会貢献活動に寄与しており、引き続き積極的な食農教育応援事業の展開に取り組んでまいります。



〈JAわっかない 小学校への訪問授業〉

「豊かな魅力ある農村」の実現への取り組み

JAバンク北海道スペシャルナイターの開催

JAバンク北海道は、本年、「北海道日本ハムファイターズ」とスポンサー契約を締結いたしました。それに伴い、地域活性化やJAバンク認知度向上を目的として、6月、プロ野球セ・パ交流戦の北海道日本ハムファイターズ対阪神タイガース戦に協賛し、スポンサーのイベントデー「JAバンク北海道スペシャルナイター」を開催しました。

試合前のイベントには、JAバンクをご利用いただいている親子を招待しファイターズの選手と触れ合っていました。また、両チームの監督にJA職員が花束を手渡し、始球式では、JAバンクのイメージキャラクターの松下奈緒さんがJAバンク北海道特製ユニフォームを着用し登板、ちょりスも応援しました。ちょりスは、5回裏終了後、ファイターズガールとともにYMCAダンスを踊り、会場の札幌ドームを盛り上げました。



全日本大学駅伝北海道選考会／日刊スポーツ豊平川マラソンの応援

JAバンクでは、スポーツ振興等を目的として、各種スポーツの応援・協賛等を行っております。

平成30年度で10年目となる全日本大学駅伝への協賛では、8月に行なわれた北海道地区選考会に地元JA等と大会のサポート役として参加し、沿道で声援を送ったほか、道産米を使った「おにぎり」、道産生乳を使った「飲むヨーグルト」、JAバンクオリジナルタオルの差入れを行いました。

また、JAバンク北海道では平成28年から「日刊スポーツ豊平川マラソン」への協賛も行っており、特設ブースの出展やちょりスの登場などでランナーたちを応援しております。



〈全日本大学駅伝北海道選考会で応援するJAバンク役職員〉

「豊かな魅力ある農村」の実現への取り組み

旬食カレッジin洞爺湖「収穫・料理教室」の開催

JAバンク北海道は、平成30年8月に洞爺湖町で、「旬食カレッジin洞爺湖 収穫・料理教室」を開催いたしました。旬食カレッジの開催は、一昨年の札幌市、昨年の旭川に続き3回目になります。当日は、札幌市の親子16組32名が参加しました。

今回は、JAとうや湖との共催で、同JAの正組合員などの協力を受け、親子を対象にした「収穫体験」、「料理教室」とJAとうや湖による「講演」を行いました。また、JAとうや湖野菜集出荷センターで、JAバンクのTVCMで取り上げられた「雪蔵」見学を行いました。



〈収穫体験〉



〈雪蔵見学〉



〈料理教室〉

「豊かな魅力ある農村」の実現への取り組み

落語イベントへの協賛

平成30年9月、JAバンク北海道は、若手落語家ユニット「成金」による落語イベントに協賛しました。本協賛は、同年3月に続き2回目になります。

イベント当日、900名以上のお客様が来場され、笑いを通じて「元気をもらった」など、来場者から好評な感想をいただきました。



「JAグループ北海道×北海道コンサドーレ札幌」 北海道応援マッチの開催

JAグループ北海道は、9月に札幌ドームにおいて、オフィシャルパートナーとなっている北海道コンサドーレ札幌のホームゲーム（対サガン鳥栖）に協賛し、「北海道応援マッチ」として開催しました。

「北海道応援マッチ」では、9月6日に発生した北海道胆振東部地震での被災に対する支援の呼び掛けを行ったほか、当会始めホクレンなど各連合会がブースを出展し、JAグループの取り組みについてPRしました。



JAバンク北海道のブース

「豊かな魅力ある農村」の実現への取り組み

地域住民・世代別のニーズに応じた金融サービスの提供

年金キャンペーン

JAバンク北海道で年金をお受取りの方等を対象に、「年金感謝ウィーク」、「年金お受取り・ご紹介キャンペーン」を実施しました。「年金感謝ウィーク」では、北海道警察と連携して、来店者向け粗品に特殊詐欺に関する注意喚起の標語を印刷し、お客様に日ごろの感謝を込めて道産小豆を使用した「招福ようかん」をお渡ししました。



「年金感謝ウィーク」来店者向け粗品
羊羹4本セット

JAバンク 北海道

春のワクワク

もらエール

キャンペーン

がんばらな
ふれーふれー！

©マルス

2018
2.1 (木)
⇒ **5.31** (木)

給与口座で！

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

JAで給与と受取口座を新たに指定いただくと応募者全員に

JAバンクオリジナルデザイン
QUOカード 5,000円分

※金額換算
※給与受取口座が新設必要

対象期間：2018年2月1日～5月31日
 ※2018年2月1日～5月31日の間に給与と受取口座を新たに指定いただいた方にのみ対象となります。
 ※給与受取口座が新設された方にのみ対象となります。

定期預金も口座開設が無料です！

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

定期預金も一定の条件で新設が無料
いただくとお得で300名様に

**ホクレンカタログ
ギフト5,000円相当**
(送料別)

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

タイズに優待！

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

Webからタイズにお支払いいただく
特選で300名様に

**ファースト (特選) コンサードレ
JAバンク北海道
コラボTシャツ**

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

定期預金も口座開設が無料です！

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

定期預金も一定の条件で新設が無料
いただくとお得で300名様に

**ホクレンカタログ
ギフト5,000円相当**
(送料別)

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

タイズに優待！

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

Webからタイズにお支払いいただく
特選で300名様に

**ファースト (特選) コンサードレ
JAバンク北海道
コラボTシャツ**

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

定期預金も口座開設が無料です！

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

定期預金も一定の条件で新設が無料
いただくとお得で300名様に

**ホクレンカタログ
ギフト5,000円相当**
(送料別)

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

タイズに優待！

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

Webからタイズにお支払いいただく
特選で300名様に

**ファースト (特選) コンサードレ
JAバンク北海道
コラボTシャツ**

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

定期預金も口座開設が無料です！

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

定期預金も一定の条件で新設が無料
いただくとお得で300名様に

**ホクレンカタログ
ギフト5,000円相当**
(送料別)

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

タイズに優待！

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

Webからタイズにお支払いいただく
特選で300名様に

**ファースト (特選) コンサードレ
JAバンク北海道
コラボTシャツ**

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

定期預金も口座開設が無料です！

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

定期預金も一定の条件で新設が無料
いただくとお得で300名様に

**ホクレンカタログ
ギフト5,000円相当**
(送料別)

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

タイズに優待！

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

Webからタイズにお支払いいただく
特選で300名様に

**ファースト (特選) コンサードレ
JAバンク北海道
コラボTシャツ**

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

定期預金も口座開設が無料です！

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

定期預金も一定の条件で新設が無料
いただくとお得で300名様に

**ホクレンカタログ
ギフト5,000円相当**
(送料別)

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

タイズに優待！

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

Webからタイズにお支払いいただく
特選で300名様に

**ファースト (特選) コンサードレ
JAバンク北海道
コラボTシャツ**

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

定期預金も口座開設が無料です！

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

定期預金も一定の条件で新設が無料
いただくとお得で300名様に

**ホクレンカタログ
ギフト5,000円相当**
(送料別)

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

タイズに優待！

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

Webからタイズにお支払いいただく
特選で300名様に

**ファースト (特選) コンサードレ
JAバンク北海道
コラボTシャツ**

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

定期預金も口座開設が無料です！

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

定期預金も一定の条件で新設が無料
いただくとお得で300名様に

**ホクレンカタログ
ギフト5,000円相当**
(送料別)

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

タイズに優待！

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること

Webからタイズにお支払いいただく
特選で300名様に

**ファースト (特選) コンサードレ
JAバンク北海道
コラボTシャツ**

※お申し込み、お申し込みの
ご住所が北海道内であること



12月 6/10・7/31迄



JAバンク
30周年

今年の当は、
チャンスがでかい。

みんなでかい北海道

ドドン

と当たる

画キャンペーン

年会受取

JAネットバンク

JAカード発行で！ 定期貯金・年会金で！

必ず **3,000**名様に当たる！



北海道の味を
ドドン！

抽選で
1,000名

全道JA特産品
カタログギフトから
お好きなJA特産品1品
（1,500円相当）

Web限定

QUOカード2,000円分が抽選で当たる！

口座振替キャンペーン実施中

お振込みでQUOカードが当たる。10月31日抽選開始（12月31日抽選終了）。JAネットバンク（JAバンク）の口座振替で、お振込みした10月31日までの振込額が当たる。抽選は抽選者1名あたり1票。抽選結果は、抽選結果発表ページでご確認ください。

Wポイント

JA特産品1品 （1,500円相当）

または **農協全国商品券** 5,000円券

ご希望のどちらかを
プレゼントします。



先着で
プレゼント/
L'Oréal Paris
マジック
Magica







社会的責任と地域貢献活動

◆「経営者保証に関するガイドライン」への対応方針について

経営者保証に関するガイドライン研究会（全国銀行協会および日本商工会議所が事務局）が公表した「経営者保証に関するガイドライン」を踏まえ、当会は、本ガイドラインを尊重し、遵守するための態勢整備を実施しております。

当会は、お客さまと保証契約を締結する場合、また、保証人のお客さまが本ガイドラインに則した保証債務の整理を申し立てられた場合は、本ガイドラインに基づき、誠実に対応するよう努めてまいります。

◆金融円滑化の取り組みについて

当会は、「健全な事業を営む農業者をはじめとする地域のお客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくこと」を、「最も重要な役割のひとつ」として位置付け、公共性と社会的責任を強く認識し、その適切な業務の遂行に向け、当会としての方針を定め、取り組んでいます。

金融円滑化に係る基本方針はこちらから 〈<http://www.jabank-hokkaido.or.jp/shinren/efforts/>〉

◆お客さま本位の業務運営に関する取り組みについて

お客さま本位の業務運営に関する取組方針

JAグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

本会では、この理念のもと、平成29年3月に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するため、以下の取組方針を制定いたしました。

今後、本方針に基づく取組みの状況を定期的に公表するとともに、よりお客さま本位の業務運営を実現するため本方針を必要に応じて見直してまいります。

1. お客さまへの最適な商品提供

- (1) お客さまに提供する金融商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えできるものを選定します。

2. お客さま本位のご提案と情報提供

- (1) お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて、お客様にふさわしい商品をご提案いたします。
- (2) お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすく説明し、必要な情報を十分にご提供します。
- (3) お客さまにご負担いただく手数料について、お客さまの投資判断に資するよう、丁寧かつ分かりやすい説明に努めます。

3. 利益相反の適切な管理

- (1) お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理します。

4. お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

- (1) 研修による指導や資格取得の推進を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築します。

以 上

社会的責任と地域貢献活動

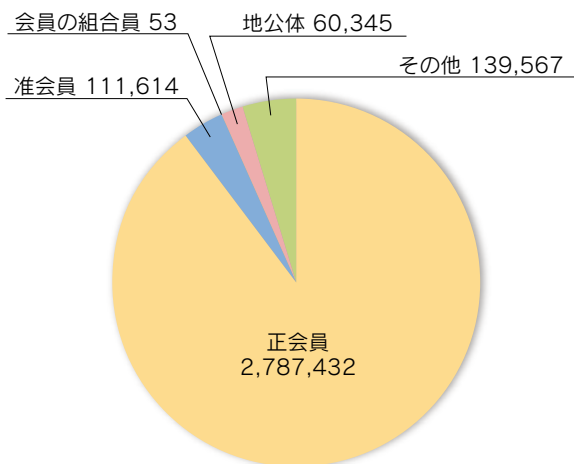
地域経済活性化への貢献

当会は、地元のJA等が会員となって、お互い助け合い発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の農業専門金融機関であるとともに、地域経済の活性化に資する地域金融機関です。

地域からの資金調達の状況

【貯金残高】（NCD含む）

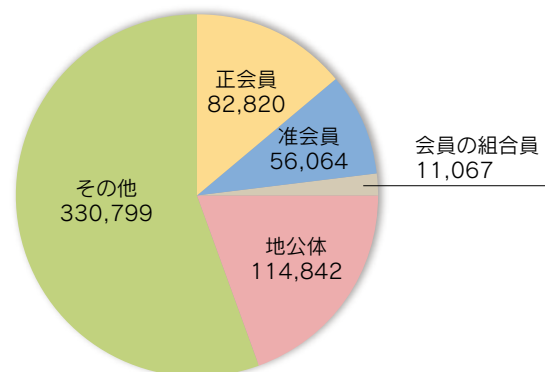
（単位：百万円）



地域への資金供給の状況

【貸出金残高】

（単位：百万円）



（平成30年9月末現在）

地域貢献活動の取り組み

ファイターズドリームシートへの協賛

JAバンク北海道は、平成29年9月より、北海道日本ハムファイターズの企画である「ファイターズドリームシート」への協賛を始めました。本企画は、北海道の活性化や、子ども達の未来のために、福祉団体を通じて子ども達を札幌ドームで開催のファイターズ公式戦に招待する社会貢献活動であり、JAバンク北海道は2018年シーズンについて「プレミアムサポーター」として本取組みを支援しています。

北海道警察と連携した、特殊詐欺被害防止に向けた取り組み

6月の年金支給日に、JAバンク北海道の8店舗において、北海道警察と連携して、特殊詐欺被害防止にかかるチラシを来店者に配付し、啓発活動を実施しました。また、HBCラジオ番組「気分上昇ワイド・ナルミッツ!!!（月～金）9：00～12：00」の中で、特殊詐欺被害防止を啓発するコーナーをJAバンク北海道が提供し（毎月1回）、北海道警察より最新の手口や防止策についてリスナーに情報提供しています。



社会的責任と地域貢献活動

清掃活動の実施

地域の美化の観点から、北海道の環境市民団体「NPO法人北海道市民環境ネットワーク」が事業運営する「ラブアース・クリーンアップin北海道」の活動に参加し、各事務所周辺で清掃活動に取り組んでおります。



献血への協力活動

地域社会の一員として地域医療に貢献する観点から、年数回、各事務所で日本赤十字社の出張献血（献血バス）に協力しております。また、当会は、緊急的に血液が不足した時の協力・支援等のため、日本赤十字社の「献血サポーター」に登録しております。

エコキャップ・リングプル運動

そのまま捨てればごみとなるペットボトルのキャップや空き缶等のリングプルを収集し、障がい者雇用や難病小児への支援を行う全国社会福祉援護協会の取組みに協力しております。

ベルマーク運動

ベルマーク教育助成財団の行うベルマーク運動に賛同し、へき地や養護・盲・ろう学校など、支援が必要な学校の設備や教材購入への支援のため、ベルマークを収集しております。

使用済み切手収集運動

郵便物等に貼りつけられている使用済み切手の収集運動に協力しています。集めた切手は、日本ユニセフ協会に寄付し、ユニセフ募金として世界中の子どもたちの援助に役立てられます。

大通り公園花壇づくり

当会では、札幌市の緑化事業への参加として、農林中央金庫札幌支店が行っている札幌市大通り公園での花壇植栽活動に平成26年度より参加しております。

今後も活動を通じて、地域の環境整備に努めてまいります。



地域社会とのふれあい

各JAでは、年金をJAで受け取られている皆様を中心に「年金友の会」をつくり、会員間の親睦を深める活動を行っており、当会は、各JAを通じてこれらの活動を支援し、健康で楽しく暮らせる明るい地域社会づくりに協力しております。

高齢化社会と年金相談

高齢化社会を迎え年金受給者は増加傾向にあります。

JAバンクでは、これから年金をお受取りになる方への受給手続の支援など、年金に関する相談や疑問をお持ちの方に対応できる相談窓口の充実に取り組んでおります。

年金に関する質問等は、最寄りのJA窓口にお尋ねください。

組織情報



①本所・札幌支所

札幌市中央区北4条西1丁目1番地

本所
TEL (011) 232-6010

札幌支所
TEL (011) 232-6060



JAオロロンの移動店舗車

羽幌町、初山別村、遠別町内を巡回し、金融サービスの提供や日用品・食料品の販売をおこなっております。



②岩見沢支所

岩見沢市5条西5丁目2番地の1

TEL (0126) 22-8202

※窓口業務 本所移管支所
(窓口業務取扱平成24年9月終了)



③旭川支所

旭川市宮下通4丁目2番5号

TEL (0166) 24-1381

※窓口業務 本所移管支所
(窓口業務取扱平成26年7月終了)



④帯広支所

帯広市西3条南7丁目14番地

TEL (0155) 23-2662

※窓口業務 本所移管支所
(窓口業務取扱平成26年7月終了)

- ・ 設立年月 昭和23年(1948年)
- ・ 出資金 (平成30年9月末) 96,273百万円
- ・ 職員数 (平成30年9月末) 336名



道内JAの店舗網については、JAバンク北海道HP (<http://www.jabank-hokkaido.or.jp/shinren>) をご確認ください。



JA新はこだての移動店舗車

江差管内上ノ国町で営業しています。

貯金窓口のない地域での金融サービスの提供を通じて地域の皆さまの暮らしを支えています。



⑤北見支所

北見市とん田東町617番地

TEL (0157) 23-4726

※窓口業務 本所移管支所
(窓口業務取扱平成25年6月終了)



⑥釧路支所

釧路市黒金町12丁目10番地の1

TEL (0154) 22-4813

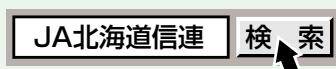
※窓口業務 本所移管支所
(窓口業務取扱平成25年6月終了)



⑦事務センター

札幌市豊平区福住1条4丁目13番13号

TEL (011) 836-3389



発行 平成30年12月

北海道信用農業協同組合連合会 総務部・総合企画部
〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地 TEL 011-232-6010(代表)
ホームページ <http://www.jabank-hokkaido.or.jp/shinren>

ホームページには、『北海道信連の現況(ディスクロージャー)』等を掲載しております。たくさんのアクセスをお待ちしております。



この冊子は、環境に配慮した植物油インキ（ベジタブルオイルインキ）を使用しています。